

－先端医療の産業化を考える－

日経アジア感染症会議における石原外務大臣政務官挨拶

（平成 26 年 2 月 14 日， 於： 沖縄万国津梁館（名護市））

1 はじめに

ただいまご紹介にあずかりました石原宏高です。本日，日本経済新聞社及び日経 BP 社主催にて日経アジア感染症会議がここ沖縄で開催されることを喜ばしく思います。というのも，この分野に精通されている皆様は覚えておいででしょう，今から約 14 年前の 2000 年 7 月，日本がサミット史上初めて感染症対策を主要議題の一つとして取り上げたのが，ここ沖縄，そしてまさにここ万国津梁館で開催された G8 サミットの機会でありました。それが G8 のイニシアティブとなり，三大感染症と呼ばれるエイズ，結核及びマラリアに対処するための「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」の設立へとつながりました。その地である沖縄で，日本とアジアの感染症の取組が始まることを大変嬉しく思います。今回，名だたる専門家の皆様が感染症対策のためのアジアネットワーク形成に向け提言をまとめてアジアへ発信していくためにお集まりになられたことは，日本の知見，技術そして貢献をさらに力強く世界と共有し，解決策を

示していくまたとない好機であると考えます。

2 感染症の課題と日本の取組

感染症は一国一国に限られた問題ではありません。グローバル化と呼ばれ、人や物が日々国境を越えて行き来する現在の世界では、感染症も国を越えて急速に広がっていく地球規模課題です。また、感染症は人々の生命を脅かすのみならず、経済及び社会の発展の阻害要因ともなり、保健分野にとどまらない問題です。

日本は「人間の安全保障」を理念として掲げ、それに直結する保健分野における取組を外交の重要課題として位置づけて、世界の人々の健康、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに貢献することを目指しています。また、日本が誇る様々な技術で世界に貢献するという強い意志を有しています。具体的には、医療の国際展開を政策目標にし、日本式の医療サービスの海外展開を進めており、アジアの国々と協力関係の構築が合意されています。これからも日本の医薬品、医療機器、保険制度という、世界に誇れる保健分野の経験・知見を世界と共有していきます。

感染症に対処するには、包括的な取組が必要であり、それにつ

なかるものとして保健システムの強化を行うことが重要です。医薬品、ワクチンを供与するとしても、確実に輸送する仕組みがなくてはなりません。病院等の医療施設も建てるだけではなく、適切な医療器具が必要ですし、確固とした知識や技術、経験を有する医師や看護師等が同施設において、効果的、効率的な治療・手当を行えるように、医療従事者の能力強化・育成も必要となります。予防や治療に関する正しい知識の普及等、人々を啓発していく努力も必要です。また、ワクチンの生産や公衆衛生への脅威に対して、民間を含めたマルチセクターの協力や連携も必要となってまいります。まさに包括的な取組が求められているのです。

このような包括的取組のため、日本は様々な支援を行っております。例えば、世界基金へは、2014 年以降、当面 8 億ドルの拠出を行う旨を昨年 12 月に発表しました。^{カウイ}GAVIアライアンスへも第一次増資会合以降、毎年拠出を行っています。^{ユニセフ}UNICEFを通じ、ポリオを含む小児感染予防支援やコールドチェーン展開支援も行っています。二国間支援では、抗ウイルス薬の供与やワクチン接種支援に加え、保健システム強化を重視し、医療従事者の人材育成・能力強化や公衆衛生に関する教育、ワクチンを運ぶコールドチェー

ン供与等を行っています。感染症は地球規模課題であり包括的な取組が必要であることを常に念頭に置きつつ、真に必要な支援が必要な人々に届くよう、様々な角度から感染症対策を捉えながら、日本は今後も世界の感染症対策に取り組んでいきます。

3 結び

先月末の所信表明演説において、安倍総理は、沖縄はアジアと日本をつなぐゲートウェイであると述べられました。また、今後、返還が予定されている県内の駐留軍用地の跡地においても、最先端医療施設の建設や医療データを活用した新薬開発拠点の可能性など、様々な提案があると承知しています。世界を結ぶ架け橋という意味である万国津梁の名を持つ万国津梁館での今回の会議開催は、ここ沖縄を拠点とした医療分野でのますますの発展の道筋を示すものと期待します。アジアとの物流のハブ、観光客を迎える玄関、また 21 世紀のアジアの架け橋として、沖縄は可能性に溢れております。

日本の強みを最大限活かしつつ、アジアの国々と情報を共有し、またアジアの国々と手を取り合って、我が国はこれからもアジアの

発展に寄与してまいります。この素晴らしいタイミングで開催された本会議がまさにその一端を担うことを信じてやみません。

会議のご成功をお祈りいたします。ご静聴ありがとうございました。